

「都道府県アルコール健康障害対策推進計画」に関する取組について

1) 根拠規定

- 都道府県は、都道府県の実情に即した「推進計画」を策定するよう努めなければならない。
 - － アルコール健康障害対策基本法（平成25年法律第109号。）第14条において規定 －

2) 政府における目標

- 平成32年度までに、全都道府県で「推進計画」が策定されることを目標。
 - － アルコール健康障害対策推進基本計画（平成28年5月31日閣議決定） V 推進体制等において規定 －

3) 平成29年度「推進計画」策定促進のための事業

① 都道府県・指定都市アルコール健康障害対策担当者会議

■ 事業目的

国や地方自治体、民間団体等におけるアルコール健康障害対策の取組を共有することにより、アルコール健康障害対策の取組や推進計画の策定のための支援の一助とする。

■ 平成29年度実績

平成29年9月19日（火）14:00～16:30 厚生労働省2階講堂で開催

議題 ・国におけるアルコール健康障害対策の取組 ・都道府県におけるアルコール健康障害対策の取組（三重県、京都府）
・基調講演「自治体へ求める役割について－推進計画策定に当たりお願いしたいポイント」（NPO法人アスク 今成代表）

② 有識者（アドバイザー）等派遣事業

■ 事業目的

推進計画の策定の有無にかかわらず、国の計画策定時に関わった有識者（アドバイザー）等を都道府県に派遣することにより、都道府県におけるアルコール健康障害対策の取組や推進計画の策定のための支援の一助とする。

■ 派遣までの流れ

厚生労働省が都道府県宛て希望調査を実施 → 派遣希望自治体の回答をもとに厚生労働省が派遣希望者等の調整 → 請負業者であるNPO法人アスクが派遣希望自治体の派遣内容等を調整 → 希望日時到有識者（アドバイザー）等を派遣

■ 平成29年度実績

- I. 山形県(平成29年12月21日)派遣者：今成 知美【NPO法人アスク代表】
- II. 熊本県(平成30年2月19日)派遣者：今成 知美【NPO法人アスク代表】
- III. 愛媛県(平成30年3月9日)派遣者：猪野 亜朗【かすみがうらクリニック副院長（第1期アルコール健康障害対策関係者会議委員）】

「アルコール関連問題啓発週間」について

□アルコール関連問題啓発週間の目的

国民の間に広くアルコール関連問題に関する関心と理解を深めるため、当該趣旨にふさわしい事業を国及び地方公共団体
が実施されるよう努めるもの。－アルコール健康障害対策基本法第10条に規定－

－平成29年度啓発ポスター－

□アルコール関連問題啓発週間の期間

毎年11月10日～11月16日 [7日間]

□平成29年度「アルコール関連問題啓発週間」(11月10日(金)～11月16日(木))に伴う取組

①アルコール関連問題啓発フォーラム【厚生労働省主催】

厚生労働省主催によるアルコール関連問題啓発フォーラム in 東京を開催。

日時：平成29年11月12日（日） 13:00～17:00

場所：三井住友銀行東館SMBCホールライジング・スクエア（東京都千代田区）

主なプログラム：PART1 シンポジウム〈若い女性とアルコール〉 PART2 当事者アピール
PART3 実践トーク〈合言葉は“地域連携”〉



－アルコール関連問題啓発フォーラム in 東京－

②アルコール関連問題啓発フォーラム【都道府県共催】

都道府県との共催（5府県）で基調講演等を内容としたフォーラムを開催。

【共催都道府県】岩手県、三重県、滋賀県、大阪府、徳島県

【開催時期】11月5日（日）：岩手県、徳島県 11月11日（土）：滋賀県

11月12日（日）：三重県 11月13日（月）：大阪府



③アルコール関連問題啓発ポスターの作成及び配布

地方公共団体のほか、関係府省庁の協力の下、小学校・中学校・高等学校・大学等の各種学校、警察署、公共交通機関等に配布

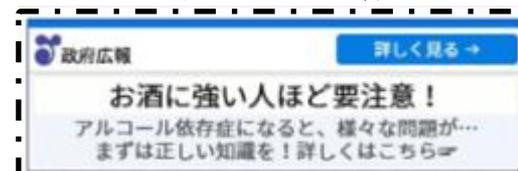
④啓発イベント

関係団体によるアルコール健康障害対策をテーマとしたチラシ配布やイベントの実施、その他各省庁及び地方自治体における主体的な啓発事業等の実施。

－ヤフーバナー広告－

⑤政府広報を活用した広報活動

政府広報を活用し、政府広報ラジオ（「秋元才加のWeekly Japan!!」）で本週間を紹介、ヤフーバナーに広告を掲載、ヤフーバナー広告に合わせ、厚労省HPも更新。



その他「普及啓発活動」について

以下の取組を通じて、アルコール健康障害対策に関する正しい理解の普及啓発活動に努めた。

□ 依存症の理解を深めるための普及啓発事業

① 依存症の理解を深めるための普及啓発シンポジウム

「どうつなげる、依存症支援と依存症予防教育」をテーマに文部科学省との共催によるシンポジウムを開催。

アルコール依存症支援の立場からNPO法人AA日本ゼネラルサービスが活動紹介を行った。

日時：平成30年1月28日（日） 13:00～16:30 場所：イノカンファレンスセンター（東京都千代田区）

主なプログラム：第1部 基調講演 第2部 活動紹介と当事者からの語り 第3部 パネルディスカッション

② 依存症の理解を深めるための普及啓発イベント

「あなたはわかってる？ 誤解だらけの依存症」をテーマにイベントを開催。当日は、お笑い芸人などのゲストを招き、トークとクイズなどでステージを展開。イベント当日の様子は、「ニコニコ生放送」や「You Tube」、「LINE LIVE」で生配信。

日時：平成30年3月4日（日） 11:00～17:00 場所：渋谷駅ハチ公前（東京都渋谷区）

出演者：パッキンマックン（お笑い芸人）、水道橋博士（社会派ナビゲーター）、ダンブ松本（アルコール・ギャンブル当事者家族）、松本俊彦（NCNP）、田中紀子（ギャンブル依存症問題を考える会）

□ 政府広報を活用した広報活動

① バナー広告掲載

ヤフーバナー及びNewsCafe（ガラケーサイト）に広告を掲載。

② 政府広報ラジオ

政府広報ラジオ（「秋元才加のWeekly Japan!!」）で、「知ることが予防と治療の第1歩！アルコール・薬物・ギャンブルなどの依存症」を放送。 ※政府広報ラジオホームページからアーカイブで放送を確認できます。

③ 政府インターネットテレビ

政府インターネットテレビで「あなたの家族は大丈夫？ 依存症は病気です」を掲載中。

④ 政府広報オンライン

政府広報オンラインで依存症の正しい理解に関する特設サイトを作成。

□ その他

依存症の理解を深めるための普及啓発リーフレット

相談窓口として、各種民間団体（自助グループ・支援団体）の連絡先を掲載。

—シンポジウム—

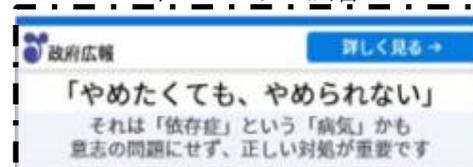


—どうつなげる、依存症支援と依存症予防教育—

—依存症の理解を深めるための普及啓発イベント—



—ヤフーバナー広告—



—政府インターネットテレビ—



関係府省庁におけるアルコール関連問題啓発フォーラム・シンポジウム・広報活動状況

【フォーラム・シンポジウムの開催状況】

(平成28年度)	(平成29年度)
○厚生労働省	
1. アルコール関連問題啓発フォーラム(※内閣府にて実施) アルコール関連問題啓発週間を中心に、4府県において、フォーラムを地方公共団体との共催により開催 平成28年11月13日 静岡県、平成28年11月13日 京都府・京都市 平成28年11月23日 高知県、平成28年11月27日 岐阜県	1. アルコール関連問題啓発フォーラム(地方自治体共催分) アルコール関連問題啓発週間を中心に、5府県において、フォーラムを地方公共団体との共催により開催 平成29年11月5日 岩手県、徳島県 平成29年11月11日 滋賀県 平成29年11月12日 三重県 平成29年11月13日 大阪府
2. アルコール関連問題啓発イベント(※内閣府にて実施)【平成28年11月20日 東京】 国民の間に広くアルコール関連問題に関する関心と理解を深めるためのイベントを開催	2. アルコール関連問題啓発フォーラム(厚生労働省主催分)【平成29年11月12日 東京】 アルコール関連問題啓発週間である平成29年11月12日に関係府省庁及び関係団体等の後援のもと厚生労働省主催によるフォーラムを開催 プログラム：PART1 シンポジウム<若い女性とアルコール> PART2 当事者アピール PART3 実践トーク<"合言葉は地域連携">
3. 平成28年度たばこ・アルコール対策担当者講習会【平成29年1月18日 東京】 地方自治体等において、たばこ・アルコール対策を実施するにあたり、担当者が最新の動向や知識を習得し、関係機関との連携の下、より効果的なたばこ対策を推進することができるよう支援するための講習会を開催	3. 平成29年度たばこ・アルコール対策担当者講習会【平成30年3月19日 東京】 同左
4. 依存症の理解を深めるための普及啓発シンポジウム【平成29年3月11日 東京】 広く国民に対して、依存症に対する正しい理解や対応策を啓発し、依存症の課題を解決することを目的としたシンポジウムを開催	4. 依存症の理解を深めるための普及啓発シンポジウム【平成30年1月28日 東京】 「どうつなげる、依存症支援と依存症予防教育」をテーマに、関係府省庁及び新聞社の後援のもと文部科学省との共催によるシンポジウムを開催 プログラム：第1部 基調講演 第2部 活動紹介と当事者の語り 第3部 パネルディスカッション
○文部科学省	
5. 薬物乱用防止・飲酒等教育シンポジウム大阪大会【平成28年9月16日 大阪】 児童生徒に対する薬物乱用防止・飲酒等教育の指導の充実を図るため、薬物乱用防止・飲酒等に関するシンポジウムを開催	5. 薬物乱用防止・飲酒等教育シンポジウム宮城大会【平成29年10月17日 仙台】 児童生徒に対する薬物乱用防止・飲酒等教育の指導の充実を図るため、薬物乱用防止・飲酒等に関するシンポジウムを宮城県教育委員会との共催により開催。プログラム：行政説明、基調講演、シンポジウム(テーマ：学校・家庭・地域が連携した喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育)
6. 依存症予防教育推進シンポジウム【平成29年3月16日 東京】 各種依存症の現状や事前の予防教育の取り組み事例等の紹介等を通じ、将来的な依存症患者数の減や青少年健全育成を推進することを目的として、シンポジウムを開催	6. 依存症予防教育推進シンポジウム【平成30年1月28日 東京】 「どうつなげる、依存症支援と依存症予防教育」をテーマに、関係府省庁及び新聞社の後援のもと厚生労働省との共催によるシンポジウムを開催 プログラム：第1部 基調講演 第2部 活動紹介と当事者の語り 第3部 パネルディスカッション

【広報・普及啓発活動】

(平成28年度)	(平成29年度)
○厚生労働省	
1. アルコール関連問題啓発ポスター(※内閣府にて実施) アルコール関連問題啓発週間(11月10日～16日)の時期に合わせ、アルコール関連問題に関する関心と理解を深めるためのポスターを作成し、地方公共団体のほか、関係省庁の協力の下、掲示	1. アルコール関連問題啓発ポスター 同左
○国税庁	
2. 未成年者飲酒防止啓発ポスター 未成年者飲酒防止強調月間(4月)に合わせ、国民の未成年者飲酒防止に関する意識の高揚等を図るためのポスターを作成し、小売酒販店に送付のほか、関係省庁の協力の下、掲示	2. 未成年者飲酒防止啓発ポスター 同左
○警察庁	
3. 飲酒運転根絶県民大会の実施 福岡、沖縄等にて飲酒運転根絶に向けた大会を県、県警等により実施	3. 飲酒運転根絶県民大会の実施 複数の県、県警等において飲酒運転根絶に向けた大会を実施
4. 全国交通安全運動等の機会を利用した飲酒運転根絶の呼び掛け 春秋の全国交通安全運動や都道府県独自の交通安全運動等を通じ、飲酒運転根絶に向けた広報活動を実施	4. 全国交通安全運動等の機会を利用した飲酒運転根絶の呼び掛け 春秋の全国交通安全運動や都道府県独自の交通安全運動等を通じ、飲酒運転根絶に向けた広報活動を実施

依存症対策の推進に係る平成29年度予算及び事業実績

全国拠点機関における依存症医療・支援体制の整備

60百万円

(概要)

アルコール・薬物・ギャンブル等の『依存症対策全国拠点機関』として独立行政法人国立病院機構久里浜医療センターを指定し、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターと連携しながら地域における指導者の養成等を実施し、依存症医療・支援体制の整備を推進する。

(事業内容)

- (1) 依存症の相談・治療等に係る指導者養成事業 (2) 依存症回復施設職員研修 (3) 全国会議の開催
(4) 依存症に関する情報収集 (5) 依存症に関する普及啓発

地域における依存症の支援体制の整備

449百万円

(概要)

都道府県等において、『依存症相談拠点の設置』等による相談支援体制の整備を図るとともに、『依存症専門医療機関の選定』等による医療提供体制の整備を図るなど、地域における依存症の支援体制の整備を推進する。

(主な取組内容)

- (1) 精神保健福祉センター等への依存症相談員の配置
平成28年度：0箇所 → 平成29年度：8自治体（6府県・2市）で配置（平成30年2月9日現在）
(2) 依存症の専門医療機関の選定
平成28年度：5箇所(モデル事業) → 平成29年度：3自治体（2府県・1市）で選定（平成30年2月9日現在）

依存症に関する普及啓発の実施

16百万円

- 平成30年1月28日 依存症の理解を深めるための普及啓発シンポジウム（東京都千代田区）の開催
平成30年3月4日 依存症の理解を深めるための普及啓発イベント（東京都渋谷区）の開催

アルコール・薬物・ギャンブル等の民間団体支援 地域生活支援促進事業34億円の内数

都道府県等において依存症の関連問題に取り組む民間団体の支援を行う。平成29年度：21自治体（11府県・10市）で実施。